広報さとる

発行日：2025年4月18日（NO.041）発行所：トヨタ自動車労働組合
発行人：近藤大輔　編集人：井出悟　印刷所：（株）トヨタエンタプライズ

さとるの部屋　FACEBOOK

「働く」を支えるまちづくりへ。裾野市と連合静岡沼三地協の意見交換から見えてきた未来

　連合静岡の沼三地域協議会（沼津・三島地域）から、裾野市に提出していた行政要望への回答、その後に意見交換が行われました。

《市長のトップセールスの取り組み》

　先日、村田市長より行政要望の回答書が、沼三地協の役員の皆さまに手渡されました。その後の意見交換では、裾野市が現在進めている政策について、率直な情報共有と意見のやりとりが行われました。

　裾野市は現在、企業誘致や新たな事業用地の創出に積極的に取り組んでおり、トップセールスで市の魅力を、企業へ直接アピールする姿勢が見られました。

《静岡県東部エリアの“ポテンシャル”》

　意見交換では、市長からこんな言葉もありました。「企業誘致や定住の課題は、神奈川県西部や中京圏など、関東圏との動線で考える必要がある」

　つまり、裾野市は単なる地方都市ではなく、東名・新東名・御殿場線などの交通アクセスに恵まれ、広域的な視点で発展できる立地であるということです。

　にもかかわらず、このエリアの大きな魅力が、まだ十分に伝わっていないという課題も共有され、今後も近隣企業や働く仲間の皆さんと連携しながら、裾野の魅力を発信していきたいという方向性が示されました。

《市議会議員としての責務》

　裾野市議会は、任期の折り返し地点を迎えました。

🏠 働く人が定住しやすい
👶 子育てしながら働きやすい
🌱 将来に希望が持てる

　働く仲間とそのご家族が「裾野市でよかった」と思える、そんなまちを実現するために、全力で取り組みます。皆さまのお声もお寄せ頂ければ幸いです。

《裾野市議会の議会だより、翌月発行に挑戦中！》

　「記事が古い」とのお声を受け、裾野市議会では定例会の翌月発行を目指しています。限られた期間での編集や印刷作業はなかなか大変ですが、少しずつ形になってきました。

　記事を減らせば薄く、増やせば読みにくくなる…そんな悩みの中でも、読者に届く紙面をと工夫しています。多くの方に読んでいただけたら嬉しいです。

裾野市初！女性副市長　大西千聡氏が就任

　臨時会において、市長より「副市長の選任」の提案があり、議会の同意を経て大西千聡氏が副市長に就任しました。裾野市における初の女性副市長となります。
　大西氏は、人材育成や組織づくりに精通し、スタートアップ企業での経験や、仕事と子育てを両立してきた実績も持つ方です。市長は、この人事を通じて「副市長2名体制の継続」と「市役所の活性化」「多様性の推進」「企業誘致や子育て支援の加速」などを掲げられました。
　裾野市の新たなステージに向けて、大きな転機となる副市長人事です。

　大西氏のキャリアは、多くの女性マネージャーにとって、目指すべき道標となるでしょう。大西氏のリーダーシップと経験が、市政に新しい風を吹き込み、働き方の多様性を推進することが期待されます。

　これからの市政運営がどう展開していくのか、市民の皆さんと共にしっかり見届けていきたいと思います。

向田小学校の歴史に幕。裾野東小学校と統合へ

　裾野市では1967年の「十里木分校」以来となる学校統合が実施されました。向田小学校は、裾野東小学校が県内一のマンモス校となったことから、平成元年に開校しました。

　開校当初は500名を超える児童が在籍していましたが、令和6年度には約80名と小規模化が進行。これを受け、令和7年度より裾野東小学校への統合が決定されました。

　私が市PTA連合会の会長を務めていた令和3年頃から、保護者、地域の皆さま、教育委員会と共に統合に向けた話し合いが重ねられてきました。当初は意見の対立もありましたが、冷静で建設的な対話を重ねることで、互いの理解が深められてきました。

「全ては、子どもたちにとって、最高の学びの場を創るために」

閉校式では、多くの地域の方々が立ち見となるほど駆けつけてくださり、向田小学校が

いかに愛されていたかを実感いたしました。
　児童や地域の皆さまが穏やかに式を迎えられたのは、教育委員会職員の献身的なサポートのおかげです。心より感謝申し上げます。

　向田小学校の跡地には、令和10年4月に東中学校が移転する予定です。

　これからも、次世代を担う若者たちの未来を第一に考えた、裾野市の将来に資する提言と政策の推進に取り組みます。

【編集後記】
　卒業の季節が過ぎ、子どもたちが次々と新しい道へ巣立っていきます。ムスメは水産高校から機械工学の世界へ。ムスコは「美術を極めたい」と、独自の感性を追いかけています。
　それぞれが選んだ道の先に、どんな景色が広がっているのか。親としては少し不安もありますが、それ以上に、楽しみながら見守っていきたいと思います。